

活動実績報告書

平成 26 年 4 月 14 日

登録番号 20130838

氏 名 小長井 信宏

1. 活動状況 (平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月)

(1)業務の概要

民国連携による広域連携団地と路網整備の推進

(2)当該業務を挙げた理由

1,000ha 規模の広がりをもった「広域連携団地」の設定による森林施業の合理化、「連携作業道」の整備に必要な大規模所有者(市町、管理署、森林総研、公社など)の連携を進めることは、フォレスターの主要な業務の一つと考えられる。

(3)当該活動における立場と役割

- ア ビジョンの提案者
- イ 連携のプロデューサー
- ウ 木材生産と路網整備のプロフェッショナル
- エ 情報のプロバイダー

(4)活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

- ア 路網整備に精通した担当者が少なく、木材搬出の検討を放棄している事例が多いため、地域の基盤整備のグランドデザインを示した。
- イ 公共団体や機関造林に特有の財産管理(立木補償や土地使用)の扱いの違いが障壁となっていたため、連携作業道の開設に必要な共通のルールを作成し、関係者に協定を締結させた。
- ウ 施業の共同化を進めるため、情報の集約と共有を進めた。
- エ 顔の見える信頼関係を構築するため、懇親の場の創出に協力した。

(5)残された課題及び今後の改善方策(案)

- ア 関係者が集まる「場」の確立のため、流域林業活性化センターを活動の母体としてフォレスターが運営する部会の設立をめざす。
- イ 不足する担い手確保のため、郡上八幡をモデルとする林建協働の推進を図る。



ワークショップでの「つなぎ地図」



完成した連携作業道

2. 研修の受講状況

研修名 低コスト作業システム研修 平成 21 年 6 月
(実施主体) 林野庁

研修名 准フォレスター研修 平成 23 年 7 月～11 月
(実施主体) 林野庁

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

(1) 各種研修の講師としての参加

- ア 低コスト作業システム研修(県立森林林業技術センター) 平成22年10月
- イ 民国連携先進地事例講演(秋田県仙北市) 平成22年12月
- ウ 総合地域学習林業講演(宍粟市立千種中学校) 平成24年1月

(2) 雑誌、広報誌への投稿

- ア 機械化林業No.653(林業機械化協会)「車両系作業システムに対応した林道づくり」
- イ 現代林業2010年8月号(全国林業改良普及協会)
「所有界をまたいでつくる基幹作業道(連携作業道)の推進」
- ウ 林業改良普及双書No.166普及パワーの施業集約化(全国林業改良普及協会)
「所有界をまたいでつくる連携作業道」

(3) 研究会、シンポジウム等での発表

- ア 林業普及指導職員全国シンポジウム(東京都) 平成21年11月
「流域林業経営モデルエリアにおける利用間伐推進の連携」
- イ 准フォレスター集合研修(東京都) 平成24年2月
「連携で切り拓く流域林業の活性化～私の考える准フォレスターの姿について～」